

価格転嫁進むも単価の上昇が受注量減少に影響

物価高騰による経費負担の増加が続き、依然として先行きは不透明

～景況 DI 値は、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス10.5～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 8月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比63.1ポイント低下のマイナス63.1、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス52.7。非製造業では、前月比47.4ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比同水準のプラス5.3。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比10.5ポイント低下のプラス5.2。非製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラス31.6、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス57.9。

収益状況 製造業では、DI 値前月比26.2ポイント低下のマイナス47.3、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス57.9。非製造業では、前月比68.4ポイント上昇のプラス21.0、前年同月比同水準のプラスマイナス0。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス26.3。非製造業では、前月比21.0ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス21.0。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比21.1ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス21.1。非製造業では、前月比5.2ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比同水準のマイナス5.3。

景況 製造業では、DI 値前月比31.6ポイント低下のマイナス52.6、前年同月比同水準のマイナス36.8。非製造業では、前月比42.2ポイント上昇のプラス21.1、前年同月比10.5ポイント低下のプラス15.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比5.3ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス10.5となった。製造業では、一部の業種で原材料価格、エネルギーコストの高止まりに対応した価格転嫁が進みつつあるものの、単価の上昇が受注量減少に影響しており、収益改善には至らず厳しい状況が続いている。非製造業では、新型コロナの5類移行後初めての夏を迎え、各地の市街地で祭りが開催されるなど賑わいを見せ、業況は前月比で大きく好転した。一方エネルギー価格、食料品の値上げなどによる消費マインド低下が深刻化しており、前年同月比では業況は悪化した。県内景況は、お盆に県内を襲った台風7号の影響により、旅館業をはじめとする観光産業で予約のキャンセルや設備の復旧を迫られるなど大きな打撃を受けた。また、引き続き業種を問わず電気代や副資材、消耗品等諸経費の値上げによる経費負担の増加が続いており、収益に大きく影響している。また、人手不足の深刻化や最低賃金上昇による人件費増加など問題が山積しており、依然として先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

8月の全国倒産は、件数742件で、前年同月を50.5%上回り、16ヵ月連続で前年同月比増加となった。負債総額は995億100万円（負債総額1,000万円以上）で、2ヵ月ぶりに前年同月比を下回った。また、2023年1月以来7ヵ月ぶりに1,000億円を下回った。

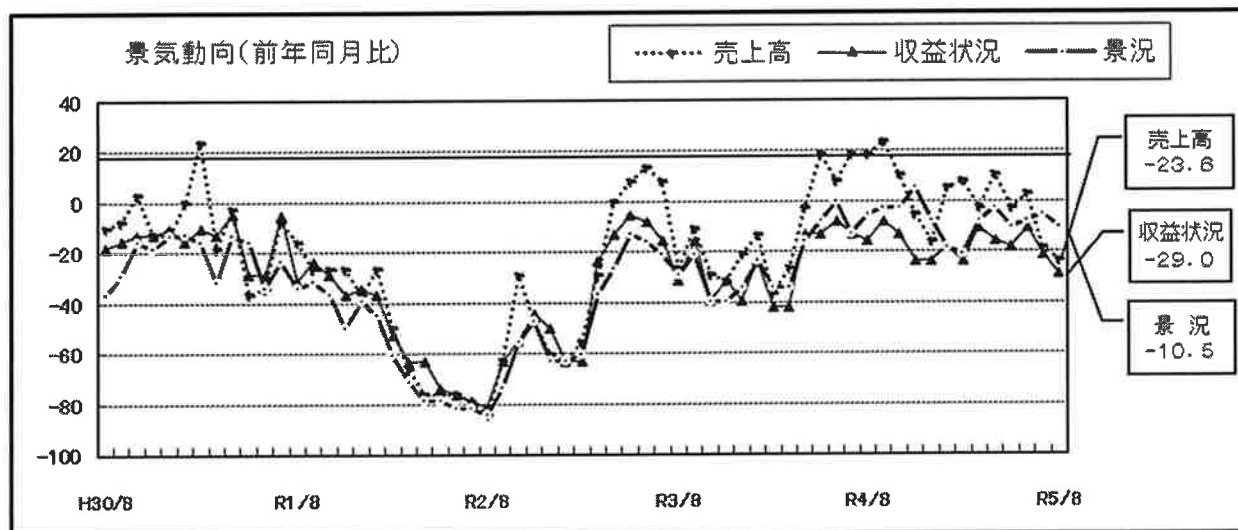
一方、8月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数4件（前月2件）、負債総額は4億2,600万円（前月2億5,500万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報7月分」）

鳥取県の7月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.35倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.29倍）で、前月より0.09ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.15倍、米子所1.54倍、倉吉所1.52倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.24倍（季節調整値）で、前月より0.56ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比12.6%減少し、有効求人数も8.9%減少となった。産業別に前年同月で比較すると、卸売業・小売業（4.9%）、運輸業・郵便業（1.3%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比5.5%増加、有効求職者数は前年同月比1.1%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.21倍で、前年同月を0.12ポイント下回った。新規求人数は前年同月に比べ11.9%減少した。



8月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	5.3%	68.4%	-63.1 -63.1	47.4%	21.1%	26.3 47.4	26.3%	44.7%	-18.4 -7.9
(2) 在庫数量	10.5%	21.1%	-10.6 -5.4	0.0%	8.3%	-8.3 -16.6	6.5%	16.1%	-9.6 -9.6
(3) 販売価格	5.3%	21.1%	-15.8 -5.2	31.6%	0.0%	31.6 10.5	18.4%	10.5%	7.9 2.6
(4) 取引条件	5.3%	5.3%	0.0 5.2	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	2.6%	5.3%	-2.7 2.6
(5) 収益状況	5.3%	52.6%	-47.3 -26.2	26.3%	5.3%	21.0 68.4	15.8%	28.9%	-13.1 21.1
(6) 資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3	10.5%	15.8%	-5.3 21.0	5.3%	18.4%	-13.1 8.0
(7) 設備操業度	0.0%	36.8%	-36.8 -31.6						
(8) 雇用人員	0.0%	21.1%	-21.1 -21.1	10.5%	0.0%	10.5 5.2	5.3%	10.5%	-5.2 -7.8
(9) 景 況	0.0%	52.6%	-52.6 -31.6	21.1%	0.0%	21.1 42.2	10.5%	26.3%	-15.8 5.3

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	10.5%	63.2%	-52.7 -10.6	31.6%	26.3%	5.3 0.0	21.1%	44.7%	-23.6 -5.2
(2) 在庫数量	5.3%	26.3%	-21.0 0.0	0.0%	8.3%	-8.3 -16.7	3.2%	19.4%	-16.2 -6.5
(3) 販売価格	26.3%	21.1%	5.2 -10.5	57.9%	0.0%	57.9 5.3	42.1%	10.5%	31.6 -2.6
(4) 取引条件	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	0.0%	15.8%	-15.8 -2.6
(5) 収益状況	0.0%	57.9%	-57.9 -15.8	21.1%	21.1%	0.0 0.0	10.5%	39.5%	-29.0 -8.0
(6) 資金繰り	5.3%	31.6%	-26.3 10.5	5.3%	26.3%	-21.0 -10.5	5.3%	28.9%	-23.6 0.1
(7) 設備操業度	0.0%	52.6%	-52.6 -21.0						
(8) 雇用人員	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3	10.5%	15.8%	-5.3 0.0	5.3%	18.4%	-13.1 -2.6
(9) 景 況	5.3%	42.1%	-36.8 0.0	31.6%	15.8%	15.8 -10.5	18.4%	28.9%	-10.5 -5.2

* D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 小麦粉、砂糖、油脂等の原材料や、包装資材等副資材価格の高止まりにより、10%前後の製品値上げでは収益の改善は見られない。最低賃金の改定も決定し、中小零細企業者にとっては死活問題となっている。

醤 油⇒ 円安の影響で外国産大豆の価格高騰が続いており、製品の値上げが出荷量の減少要因となり、収益の改善にはつながっていない。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 猛暑の長期化により秋物の売れ行きに影響している。例年に比べ追加増産の発注が極端に少なくなった。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 衣料品消費が低迷しており、秋冬物の受注は弱含みで推移した。来年の見通しについても不透明で、低調な状況が続いている。

【家具・装備品】

⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。物価高による販売価格の高止まりが続いており、仕入価格等経費の上昇が収益状況を悪化させるなど、先行きは引き続き厳しい。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量は前月比とともに減少、合板の生産量は前月比で増加となった。丸太の出材は減少しており、今後についても台風等の影響により減少が懸念される。製材品の引き合いは引き続き低調で推移した。プレカット加工の稼働率は、前月比30%減少、前年同月比30%減少となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 取引先である印刷業者、販売店の廃業・倒産の動きがあり、与信管理が厳しい。前月比で販売価格は上昇したものの収益の改善には至らず、業況は引き続き不透明な状況が続いている。

【印 刷】

⇒ 夏場の需要の落ち込みが大きく、稼働が減少したことで、売上高は前月比、前年同月比とも大きく減少した。民間ではチラシの需要が戻りつつあり、官公庁関係では秋に向けた見積もりも増え、需要回復に期待が持たれる。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 8月の生コン出荷量は、前月比で約4%減少、前年同月比で約8%減少となった。東部地区を中心に引き合いが弱く、前年割れが続いている。セメント価格、骨材価格、輸送燃料の値上げの影響が続いていたが、生コン価格への転嫁も少しずつ進み、9月以降に生コン価格の改定が予定されている。こうしたなか若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金 属 加 工⇒ 建築関係は、年末以降の需要として民間物件の動きが出ているが、現状

はまだ仕事量は少なく、価格も弱含みで引き続き厳しい。一部の大手は都市部を中心とする大型案件の需要があり忙しくしているが、全国的な建築需要の停滞により、地方の中小企業の状況は厳しい。機械加工は、受注を確保できているものの、全体的に弱含みとなっている。工作機械・産業機械関係は受注が減少傾向となっており、自動車関係も年内の受注は厳しい状況となっている。物価高騰に対する価格転嫁が進むと同時に、低価格競争も加わり、先行き不透明な状況が懸念される。

鉄骨加工⇒ 引き続き県内発注の物件量が公共・民間ともに少ない状況が続いているが、徐々に秋口からの物件発注も増えつつあり、年末にかけて需要の増加に期待が持たれる。溶材やガスなどの経費の増加が止まらず、電気代の上昇などが大きくのしかかり、工場の負担は大きく収益に大きな影響が出ている。

金属熱処理⇒ 8月の受注状況は顧客の盆休業の影響もあり、前月より減少したが、前年同月と比較しては若干の増加となった。組合員、顧客の受注状況は未だに低迷状態である。エネルギーや原材料の高騰に対する価格改定について顧客の理解も浸透してきているものの、必ずしも応じてもらえる訳ではない。今後の景気回復は不透明な状況が続くが、組合員の中には受注が順調な企業がわずかに存在している。

【電気機械器具】

⇒ 原材料調達に係るサプライチェーンは改善され、スムーズに納入されてきている。原材料価格高騰が続いており、利益確保に苦慮している。受注が大幅に減少しており、先行きは依然不透明なままである。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、取扱数量は前月比で増加、前年同月比で減少した。売上高は単価の上昇により前月比、前年同月比ともに増加したものの、取扱数量は減少した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比で減少、前年同月比で増加した。売上高は、単価の上昇により前月比、前年同月比ともに増加した。インボイス制度の施行が迫り、施行に伴う不安の声が挙がっている。台風7号をきっかけに水害に対する危機感が高まっている。

中部地区⇒ 引き続き法施行が迫るインボイス制度や、電子帳簿保存法改正について対応の動きが本格化し始めており、それに伴う需要増の動きも散見される。前年同月比で売上、収益ともに厳しい。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機とした対面営業や展示会等が再開されつつある。一方6月からの食料品、消耗品等の値上げに加え、電気料金のさらなる値上げによる売上原価への影響が懸念される。運輸関係の2024年問題に係る運送コストの上昇に伴うさらなる経費増も懸念される。

水産物⇒ 巻き網は盆休みに加え、台風による時化が続き水揚げは低迷した。期を通じて小型サバにウルメ・小アジの混獲漁（対象種と別の種を意図せず漁獲）が続き魚種的にも不安定な状況が続いた。月末にスルメイカ類の大きな水揚げもあったが、継続せず夏枯れ状態となった。福島原発の処理水放出による影響として輸出向け冷凍魚サバ等の相場が若干下落傾向にあり、水揚げそのものが夏枯れの時期で少量であり目立った価格の変化は見られない。来月から始まる底引き漁、紅ズワイガニ、巻き網の秋漁等への影響が懸念される。

リサイクル原料⇒ 価格動向については、前月比、前年同月比で横ばいとなった。再生資源物について、前月に引き続き受入量の減少が見られる。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、7月に続き土曜夜市を8月5日、12日の日程で開催し、多くの来街者を迎え大いに賑わいを見せた。しゃんしゃん祭りも4年ぶりの中心市街地での開催となり、街区飲食店・コンビニでは集客・売上増に繋がった。イベントに合わせ、新規オープンする店舗もありイベントが店舗認知・集客のきっかけとなった。引き続き飲食、宿泊関係は戻りつつあるが、物販は厳しさが続いている。値上げによる物価の上昇により売上単価は上がったが、光熱費やガソリン代などのコスト上昇により、収益状況は依然厳しい。あわせて、消費者の消費意欲が一層減退している。こうしたなか、人手不足が大きな課題となっている。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、各地でお盆の行事、夏祭りが盛大に開催され、特に倉吉銀座商店街では、倉吉市市制70周年の記念として『打吹まつり』でのみつぼし踊りに加えて『倉吉じんしょ』を昭和36年以来、62年振りに復活、実施され、大いに賑わいを見せた。今後も『倉吉じんしょ』が定着し、街の活性化の一助のなることが期待される。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、8月は広場を使い「スケートボードリーグ」を初開催した。飲食店も出店し、商店街に馴染みのない若者達が集まり、大いに賑わった。元町通り商店街では、全国から大学生達が集まり2週間のビジネス創生プログラムを行う「武者修行」を実施した。商店街を活用し、実際に学生の考えたアイデアを採択する店舗もあった。

境港市の水産物小売では、売上高は前月、前年同月ともに横ばいとなったが、施設内の飲食店については売上が増加傾向にある。水産物については「買って帰る」より「食べて帰る」需要が増加することが予想される。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、観光客の入込数は例年並みで推移していたが、お盆の台風7号の影響により観光客はほぼ0となり、その後も激減した。お盆明け以降も猛暑が続いたのに加え、ガソリン価格の高騰もあり、観光客の入込数は減少した。売上高は前月比で増加、前年同月比で減少した。

米子市のホテル・旅館では、台風の影響は少なく好天にも恵まれ、新型コロナウイルスが5類移行されたことも相まって前月比で宿泊客数が増加、売上高も増加した。販売価格も上昇したことにより収益状況も好転した。前年同月比についても宿泊客を中心に入れ込み客が増加したことで売上高も増加、収益状況も好転した。業界全体としてもほとんどコロナ禍以前の状況まで回復してきており、業況は好転している。

三朝温泉では、8月は上旬まで好調であったが、台風7号により1,000件を超えるキャンセルが発生した。休館等や復旧に迫られる旅館もあり大きな被害となった。

羽合温泉では、8月の宿泊は長めのお盆休みを利用した宿泊客が増加したものの、月の前半、後半は伸び悩んだ。台風7号の影響もあり、全体としては前年同月比で微増となった。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を合わせて1,996台で前月比が約4%

減少、前年同月比は約19%の増加となった。中古車は602台で前月比約9%減少、前年同月比は約20%増加した。継続検査（軽自動車を含む）は14,931台となり前月比で0.6%増加、前年同月比は約4%増加した。普通車、軽自動車ともに新車の供給は改善傾向となっている。

【建設業】

⇒ 7月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額107億円（前年同月比約28%増加）、件数184件（前年同月比約36%増加）となった。住宅投資は、単月では前年比マイナスとなるも、3ヵ月平均はプラスとなった。設備投資も単月、3ヵ月平均ともに前年同月比プラスが続く。公共投資についても単月、年度累計ともにプラスとなり、全体の基調として持ち直しつつあるものの、建設資材やエネルギーの高止まり、技術者の高齢化や深刻な人手不足が続くうえ、不透明な国際情勢の影響が懸念される。

7月の鳥取県新設住宅着工戸数は193戸（持家143戸、貸家50戸）で、前月比23%減少、前年同月比25%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 8月の物流は、製造業の出荷量は概ね横ばいとなったほか、猛暑による農作物の出荷量が少なく、梨の出荷も始まったものの、全体としての輸送量は減少した。復路荷物の発注情報量は増加しているが、荷物の不足傾向は続いている。売上高は稼働日数の減少から前月比で減少、前年同月比で横ばいとなった。引き続き燃料価格の値上がり幅が大きく、収益率は悪化するなど業況は厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 8月の燃料価格については大幅上昇した。他県の動向として、山陽方面の運送業者が、燃料価格高騰に伴い倒産件数が増加傾向にあり、当地区においても引き続き余談を許さない状況が続いている。2024年問題によるコスト負担増とともに、懸念材料が山積している。地場農産物運送関連は、好天に恵まれ例年並み以上の出来となった。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・消費者への減税を行い、消費回復の手立てを実行してほしい。【繊維工業】
- ・国土強靱化事業に対し、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・収益が上がっている大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・建設関係のPFI事業（民間委託による公共施設等の整備事業）に際し、備品調達に係る契約が大都市圏に流出しているため、積極的に県内事業者との契約を図り、売上の確保、雇用の確保を進める体制整備を望む。【各種卸売業】
- ・エネルギー価格をはじめ、コストの高騰に対する支援を望む。また、飲食に限らず業種に偏りのない需要喚起策を望む。【商店街】
- ・街の活性化などにアイデアを含め物心両面の援助を求める。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・インバウンドの地方への誘致や分散を望む。【旅館業】
- ・設備復旧に係る補助制度の補助上限額を上げてほしい。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売上高	製造業	-21.0	21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-31.5	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	0.0	0.0	-63.1	-42.1
	非製造業	0.0	-5.3	15.7	26.3	-10.5	-36.9	31.6	57.9	-57.9	5.2	-15.8	-21.1	26.3	26.3
	全業種	-10.5	7.9	2.6	5.3	-10.5	-34.2	10.5	28.9	-34.2	-5.3	-7.9	-10.5	-18.4	-7.9
在庫数量	製造業	5.2	5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.2	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	-5.2	-10.6	-15.8
	非製造業	-8.3	-8.4	8.4	8.4	8.3	8.4	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	-8.3	0.0
	全業種	0.0	0.0	0.0	-3.2	-3.2	6.4	3.2	6.7	3.2	6.5	6.4	0.0	-9.6	-9.6
販売価格	製造業	26.3	21.1	21.1	26.3	26.3	21.0	21.1	0.0	5.3	0.0	-5.3	-10.6	-15.8	-42.1
	非製造業	26.3	5.3	31.5	42.1	26.3	10.6	15.8	15.8	-10.6	10.6	5.3	21.1	31.6	5.3
	全業種	26.3	13.2	26.3	34.2	26.3	15.8	18.4	7.9	-2.6	5.3	0.0	5.3	7.9	-18.4
取引条件	製造業	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-5.2	0.0	0.0
	非製造業	-5.3	-5.2	0.0	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	0.0
	全業種	-2.7	-5.3	-7.9	-7.9	-5.3	-5.3	-7.9	0.0	-2.6	0.0	0.0	-5.3	-2.7	0.0
収益状況	製造業	-26.3	-15.8	-26.3	-36.8	-26.3	-31.6	-31.6	-5.2	-26.3	-15.8	-31.5	-21.1	-47.3	-21.0
	非製造業	-5.2	-15.8	10.5	15.8	-5.3	-31.5	0.0	21.1	-42.1	-10.5	-15.8	-47.4	21.0	26.2
	全業種	-15.8	-15.7	-7.9	-10.5	-15.8	-31.6	-15.8	7.9	-34.2	-13.2	-23.7	-34.2	-13.1	2.7
資金繰り	製造業	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.2	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-15.8	-21.1	-10.6
	非製造業	0.0	-21.1	10.5	15.8	-15.8	-15.8	0.0	10.5	-26.3	0.0	-15.8	-26.3	-5.3	-5.3
	全業種	-5.2	-15.8	2.6	2.6	-10.5	-10.6	-10.5	0.0	-21.1	-5.2	-15.8	-21.1	-13.1	-7.9
設備操業度	製造業	-10.6	0.0	-10.6	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-5.2	-36.8	-26.2
雇用人員	製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-21.1	-21.1
	非製造業	15.8	-5.3	5.3	0.0	-5.3	-15.8	-5.3	0.0	5.3	10.5	-10.5	5.3	10.5	-5.3
	全業種	7.9	-2.6	-2.6	0.0	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	2.7	2.7	-5.3	2.6	-5.2	-13.1
景況	製造業	-1.5	-26.3	-36.8	-31.5	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-21.0	-52.6	-51.1
	非製造業	5.2	-26.3	0.0	15.8	0.0	-31.5	5.3	21.1	-15.8	15.8	10.6	-21.1	21.1	15.9
	全業種	-2.6	-26.3	-18.4	-7.9	-13.2	-34.2	-18.4	-2.6	-23.6	-10.6	-13.2	-21.1	-15.8	-13.2

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	前年との増減幅
売上高	製造業	5.3	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-26.3	-15.8	-36.8	-31.6	-31.6	-36.8	-42.1	-52.7	-58.0
	非製造業	31.5	47.4	26.4	0.0	5.3	36.9	31.6	31.6	52.6	26.3	42.1	5.3	5.3	-26.2
	全業種	18.4	23.6	10.5	-5.3	-15.8	5.3	7.9	-2.7	10.5	-2.6	2.6	-18.4	-23.6	-42.0
在庫数量	製造業	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	-10.5	5.3	-5.3	-10.5	-21.0	-21.0	-42.1
	非製造業	25.0	-16.7	0.0	-16.7	8.3	16.7	16.7	16.7	8.4	8.4	8.4	8.4	-8.3	-33.3
	全業種	22.6	6.4	9.6	0.0	6.5	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	-3.2	-9.7	-16.2	-38.8
販売価格	製造業	42.1	47.4	47.4	57.9	47.4	31.5	36.8	21.0	26.3	26.3	10.5	15.7	5.2	-36.9
	非製造業	42.1	36.9	36.8	10.5	42.1	52.6	21.1	26.3	36.8	36.9	47.3	52.6	57.9	15.8
	全業種	42.1	42.1	42.1	34.2	44.7	42.1	28.9	23.6	31.6	31.5	28.9	34.2	31.6	-10.5
取引条件	製造業	0.0	-5.2	-15.8	0.0	0.0	-5.2	-5.3	-5.2	-10.5	-5.2	-21.0	-15.8	-15.8	-15.8
	非製造業	-15.8	-5.3	5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	0.0
	全業種	-7.9	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-13.8	-13.2	-10.5	-21.1	-13.2	-15.8	-7.9
収益状況	製造業	-36.8	-36.9	-47.3	-42.1	-42.1	-57.9	-63.2	-52.6	-52.6	-47.3	-47.3	-42.1	-57.9	-21.1
	非製造業	5.3	21.0	21.0	-5.3	-5.3	21.1	15.8	31.6	21.0	10.5	26.3	0.0	0.0	-5.3
	全業種	-15.8	-7.9	-13.1	-23.7	-23.7	-18.4	-23.7	-10.5	-15.7	-18.4	-10.5	-21.0	-29.0	-13.2
資金繰り	製造業	-10.5	-5.3	-26.3	-10.5	-10.5	-15.8	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-36.8	-26.3	-15.8
	非製造業	-10.5	10.6	15.8	5.3	-5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	-10.6	0.0	-10.5	-21.0	-10.5
	全業種	-10.5	2.6	-5.2	-2.7	-7.9	-5.3	-13.2	-13.2	21.0	-26.3	-15.8	-23.7	-23.6	-13.1
設備操業度	製造業	0.0	-10.6	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	21.1	-15.8	-21.1	-21.0	-31.6	-31.6	-52.6	-52.6
雇用人員	製造業	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	-15.8
	非製造業	0.0	-5.3	0.0	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3
	全業種	-2.6	-5.3	-5.2	-2.6	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-7.9	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5
景況	製造業	-15.8	-15.8	-21.0	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-42.1	-42.1	-36.8	-36.8	-21.0
	非製造業	5.3	10.5	15.8	21.1	5.3	-5.2	0.0	26.3	26.3	21.1	26.3	26.3	15.8	10.5
	全業種	-5.2	-2.6	-27.0	5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-7.9	-2.6	-10.5	-7.8	-5.3	-10.5	-5.3

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	0	2	1	0	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	
	繊維工業	0	0	3	1	2	0	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	1	0	1	2	0	2	1	0	0	3	
	木材・木製品	1	1	2	0	3	1	0	4	0	0	4	0	2	2	0	2	2	0	3	1	0	4	0	0	2	2	
	紙・紙加工品	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	1	1	1	0	2	0	0	2	0	
	化学ゴム																											
業	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	0	0	2	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	
	一般機器	0	2	1	0	3	0	0	2	1	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	
	輸送用機器																											
	その他																											
非製造業	19	1	5	13	2	13	4	1	14	4	1	17	1	1	8	10	0	15	4	0	12	7	0	15	4	0	9	10
	100%	5.3%	26.3%	68.4%	10.5%	68.4%	21.1%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	89.5%	5.3%	5.3%	42.1%	52.6%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	63.2%	36.8%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	47.4%	52.6%
	卸売業	2	3	1	0	5	1	2	4	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	6	0	0	6	0
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	商店街	1	2	1	0	4	0	2	2	0	0	3	1	0	4	0	0	3	1				0	4	0	0	4	0
	サービス業	4	0	1				1	4	0	0	5	0	4	1	0	2	2	1				2	3	0	4	1	0
造業	建設業	1	0	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	運輸業	1	0	1				1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	2	0
	その他																											
	19	9	6	4	0	10	1	6	13	0	0	18	1	5	13	1	2	14	3				2	17	0	4	15	0
業	100%	47.4%	31.6%	21.1%	0.0%	83.3%	8.3%	31.6%	68.4%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	26.3%	68.4%	5.3%	10.5%	73.7%	15.8%				10.5%	89.5%	0.0%	21.1%	78.9%	0.0%
	38	10	11	17	2	23	5	7	27	4	1	35	2	6	21	11	2	29	7	0	12	7	2	32	4	4	24	10
業	100%	26.3%	28.9%	44.7%	6.5%	74.2%	16.1%	18.4%	71.1%	10.5%	2.6%	92.1%	5.3%	15.8%	55.3%	28.9%	5.3%	76.3%	18.4%	0.0%	63.2%	36.8%	5.3%	94.2%	10.5%	10.5%	63.2%	26.3%

情報連絡員報告総括表（令和5年8月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	0	0	2	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	1	1	0
繊維工業	0	1	2	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	3	0
木材・木製品	0	0	4	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	1	3	0	1	3	0	2	2	0	4	0	0	0	4
紙・紙加工品	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2
一般機器	2	1	0	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	2	5	12	1	13	5	5	10	4	0	16	3	0	8	11	1	12	6	0	9	10	0	15	4	1	10	8
100%	10.5%	26.3%	63.2%	5.3%	68.4%	26.3%	26.3%	52.6%	21.1%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	42.1%	57.9%	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%	47.4%	52.6%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	52.6%	42.1%
卸売業	1	4	1	0	6	0	3	3	0	0	5	1	1	4	1	0	6	0				0	5	1	1	4	1
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	1	2	1	0	3	1	2	2	0	0	3	1	1	3	0	0	3	1				1	2	1	1	3	0
サービス業	3	0	2				4	1	0	0	4	1	2	2	1	1	2	2				1	4	0	4	0	1
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	0	1	1				1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	1	1	0	2	0
その他																											
19	6	8	5	0	10	1	11	8	0	0	16	3	4	11	4	1	13	5				2	14	3	6	10	3
100%	31.6%	42.1%	26.3%	0.0%	83.3%	8.3%	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	84.2%	15.8%	21.1%	57.9%	21.1%	5.3%	68.4%	26.3%				10.5%	73.7%	15.8%	31.6%	52.6%	15.8%
38	8	13	17	1	23	6	16	18	4	0	32	6	4	19	15	2	25	11	0	9	10	2	29	7	7	20	11
100%	21.1%	34.2%	44.7%	3.2%	74.2%	19.4%	42.1%	47.4%	10.5%	0.0%	84.2%	15.8%	10.5%	50.0%	39.5%	5.3%	65.8%	28.9%	0.0%	47.4%	52.6%	5.3%	76.3%	18.4%	18.4%	52.6%	28.9%